



報道発表資料の配付日時 2月3日(木) 15時00分

発表項目 (行事名)	令和3年度北海道地域住宅協議会 2021北の地域住宅賞 表彰式 及び 令和3年度ほっかいどう安心住まいづくりネットワーク 研修会の開催について
概要	<p>1 令和3年度 北海道地域住宅協議会 2021北の地域住宅賞 表彰式 市町村の模範として推奨するに値し、良好な公的賃貸住宅団地の整備及び改善並びに住宅施策の推進の取り組みを表彰する表彰式をWEB開催します。</p> <p>(1) 開催方法 WEB方式による開催(表彰式の模様をオンライン配信) 受賞団体及び役員(蝦名会長、山本副会長)はWEBにて参加</p> <p>(2) 日 時 <u>令和4年2月8日(火) 14:00~14:40</u></p> <p>(3) 会 場 <u>ホテルエントレ札幌 13F エントレ (WEB配信会場)</u></p> <p>(4) 出席者 市町村等(北海道地域住宅協議会構成員) (道出席者 : 長浜建築企画監など) 会場出席 (役員出席者 : 蝦名会長(釧路市長)、山本副会長(東神楽町長) WEB出席)</p> <p>(5) 授与者 知事賞、会長賞は蝦名会長、奨励賞は山本副会長からWEB上にて 受賞団体に授与予定</p> <p>※詳細は別紙1のとおり</p> <p>2 令和3年度 ほっかいどう安心住まいづくりネットワーク 研修会 住宅・建築行政と住宅関連団体の公民連携により、北海道住生活基本計画に基づく住宅施策・住まいづくりの推進に総合的かつ一体的に取り組むことを目的に研修会を開催します。</p> <p>(1) 開催方法 WEB方式による開催(研修会の模様をオンライン配信) 役員(蝦名代表、山本副代表)及び講師はWEBにて参加</p> <p>(2) 日 時 <u>令和4年2月8日(火) 15:00~17:15</u></p> <p>(3) 会 場 <u>同上</u></p> <p>(4) 出席者 市町村、住宅建築関連団体等(ほっかいどう安心住まいづくりネットワーク構成員) (道出席者 : 長浜建築企画監など) 会場出席 (役員出席者 : 蝦名代表(釧路市長)、山本副代表(東神楽町長) WEB出席)</p> <p>(5) 基調講演 「高断熱高気密がもたらす多様なベネフィット」 北海道大学大学院工学研究院 准教授 森 太郎氏</p> <p>※詳細は別紙2のとおり</p>
参 考	表彰式及び研修会ともオンライン配信によるWEB会議方式で開催します。 役員、受賞団体、講師はWEBにて出席、道関係者のみ会場に出席する予定です。
報道(取材) に当たって のお願い	マスク着用のご協力をお願いします。 発熱や咳、くしゃみ等風邪の症状がある場合は取材をお控え願います。
担 当 (連絡先)	建設部住宅局住宅課(担当者: 指導係長 川辺 篤史) TEL ダイヤルイン 011-204-5581 内線 29-516

令和 3 年度 北海道地域住宅協議会
北の地域住宅賞 2021 表彰式
次 第

日時：令和 4 年 2 月 8 日（火） 14 時 00 分～14 時 40 分

場所：モントレエーデルホフ札幌 13F ベルヴェデーレ

WEB方式（Zoom）による開催

1 開会挨拶

北海道地域住宅協議会 会長 釧路市長 蝦名 大也

2 表彰式

(1) 表彰団地・事業説明

北海道地域住宅協議会事務局（建設部住宅局住宅課）

(2) 表彰

北海道知事賞 東川町

北海道地域住宅協議会長賞 当麻町

奨励賞 木古内町、厚真町、むかわ町、帯広市、倶知安町

(3) 受賞者挨拶

北海道知事賞 東川町

北海道地域住宅協議会長賞 当麻町

3 閉会挨拶

北海道地域住宅協議会 副会長 東神楽町長 山本 進

2021北の地域住宅賞 各賞の評価内容

各賞	団地・事業名	主な特徴	評価内容	イメージ
北海道 知事賞	東川町 南町1丁目団地	○戸建住宅と一体となった統一感のあるまちなみ形成 ○子育て世代の定住促進と住環境の整備の一体的な取組	東川町景観計画、東川風住宅設計指針及び団地独自の緑化協定に基づき、周辺の一般戸建住宅と一体となって統一感のあるまちなみを形成しているほか、団地内の児童遊園は子どもや子育て夫婦等の交流の場として整備した点、道産材の積極的な活用や町内業者による施工とし、地場産業の育成を図った点が評価された。	
北海道 地域住宅協議 会長賞	当麻町 当麻町産材活用 促進事業	○住宅施策と合わせた建設補助による定住促進 ○木材の地産地消や地場産業の振興などへの効果	当麻町産材を活用した住宅を新築し、居住する者に対し、町産木材材料費を補助する地場産業振興施策により、町産材の活用促進が図られているほか、町外の移住定住者も増加し、継続的に定住促進の効果を上げている点や、木材の地産地消や地場産業の振興だけでなく脱炭素化など様々な波及効果が得られている点が評価された。	
奨励賞	木古内町 港団地	○少子高齢化対策に配慮した間取り構成 ○道南杉や再生木材の活用による景観・意匠への配慮	人口減少、少子高齢化対策として、増加する小規模世帯に対応した間取りとし、住棟2階には津波発生時の一時避難場所としても利用可能な集会所を設けて、町内会や社会福祉協議会などが開催する催しができるよう計画した点や、内装材には道南杉、外装の一部には再生木材を使用するなど、意匠・景観的にも配慮した点が評価された。	
	厚真町 新町のぞみ団地	○工期短縮とコスト削減に配慮した計画 ○胆振東部地震被災者のための新たなコミュニティ形成への配慮	胆振東部地震で住宅を失った被災者のための災害公営住宅であり、大型パネル工法の採用による工期短縮を図り、災害に備えた設備等を設置した点や、団地内に整備された歩行者専用のコミュニティロードに面して玄関を計画し、小広場を設けるなど、新たなコミュニティの形成に配慮した点が評価された。	
	むかわ町 文京ハイツ	○隣接する高校生徒寮との一体的な整備 ○災害時の対応に配慮された計画	胆振東部地震により被災した旧文京ハイツ入居者及び町内の被災者のための住宅として、小規模改良住宅と地域優良賃貸住宅の混在団地として新規整備しており、隣接する動川高校生徒寮との一体的な利用を想定して、団地と生徒寮の間で地域交流広場を設け、屋上部分は津波等の災害時の一時避難場所として整備した点が評価された。	
	帯広市 大空団地3街区 (空)	○地区の再編に関連した整備によるミックスコミュニティの形成 ○緑化や雨水地下浸透などによる環境共生型整備	大空地区の再編整備の一環として実施された建替事業であり、来年度春に開校する義務教育学校の整備と合わせて、子育て世帯が入居するミックスコミュニティの形成を目指した点のほか、団地敷地内の緑化や共同菜園の設置、雨水地下浸透などといった環境共生型の住宅整備に取り組んだ点が評価された。	
	倶知安町 くっちゃん型住宅 建設促進補助 事業	○多雪地域を考慮した町独自の認定基準 ○良好な住環境の形成や定住促進に配慮した制度設計	自然環境との調和や定住促進を目的とした町の認定基準を満たす「くっちゃん型住宅」の建設費を補助する事業であり、町内事業者による施工、若年世帯・子育て世帯・転入世帯などに対しては補助を加算することで、地場産業振興や移住定住に寄与している点のほか、認定基準は景観や豪雪地域の生活に配慮した制度設計とした点が評価された。	

令和3年度

ほっかいどう安心住まいづくりネットワーク 研修会

日時：令和4年2月8日（火） 15時00分～17時15分

場所：モントレエーデルホフ札幌 13F ベルヴェデーレ（配信場所）

WEB（Zoom）開催

次 第

1 開会挨拶

ほっかいどう安心住まいづくりネットワーク 代表 釧路市長 蝦名 大也

2 基調講演

「高断熱高気密がもたらす多様なベネフィット」

北海道大学大学院工学研究院 准教授 森 太郎 氏

3 行政報告

(1) 令和4年度 国の補助事業概要等の情報提供

建設部住宅局住宅課

(2) 北海道住生活基本計画の見直しについて

建設部住宅局住宅課

(3) 脱炭素に向けた民間住宅施策について

建設部住宅局建築指導課

(4) 建築・住宅の脱炭素に向けた市町村支援について

建設部建築局計画管理課

(5) 木造応急仮設住宅実証実験事業について

(地独) 北海道立総合研究機構建築研究本部北方建築総合研究所